

よこすか ECO通信



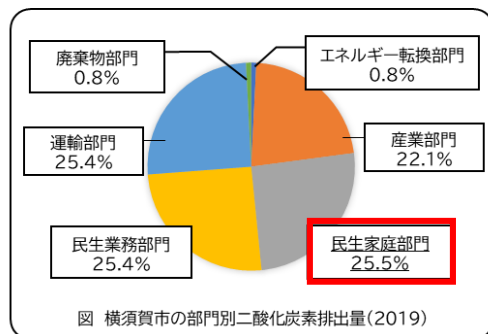
No.47
(令和4年12月)

《発行》
横須賀市、
環境教育・環境学習推進懇話会

冬の省エネ・節電にチャレンジしてみよう

今年11月、経済産業省は12月1日～3月31日の期間を定め、国民や事業者に対して冬季の省エネ・節電への協力をお願いを発出しました。冬はエネルギー消費量の多い季節であり、寒くなるにつれて給湯や暖房によりエネルギー消費量が増えていくことで電力ひっ迫の恐れがあるためです。電力ひっ迫状態では、最悪の場合、大規模停電などが起こるおそれがあります。

私たちができる範囲でエネルギーの消費を抑えれば、電力ひっ迫を回避するだけでなく、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らすことにもつながります。2019年の横須賀市の部門別二酸化炭素排出量[右図]を見ると、横須賀市の二酸化炭素排出量のうち、家庭から出る二酸化炭素が四分の一を占めています。エネルギー消費が多い冬に家庭で省エネ・節電に取り組めば、私たちの行動で、この民生家庭部門の排出量を減らしていくことができます。それでは、家庭で上手に省エネ・節電するにはどんな工夫が必要でしょうか。



家庭で冬に一番電気を使用しているのは暖房で32.7%です。次に冷蔵庫14.9%、給湯12.6%、照明9.2%と続き、この4項目だけで家庭の電力消費の約7割を占めるため、これらの省エネ・節電がポイントになります。自分のライフスタイルにあわせて、無理のない範囲でできることを探し、ぜひ実践してみてください。



《冬の省エネ・節電メニュー(一例)》

省エネ・節電効果		省エネ・節電アクション
リビング	2.7%	□ 重ね着やあったかグッズを使い、無理のない範囲で室内温度を下げる。 ※22℃から20℃に下げた場合の数値
	0.8%	□ フィルターが目詰まりしていると暖房効率さが下がるため、エアコンのフィルターはこまめに掃除する。
	0.8%	□ 窓に厚手のカーテンをかける。床まで届く長いカーテンのほうが効果的。
	4.5%	□ つけている必要がない照明はすべて消す。
	1.5%	□ リビングや寝室の照明は、可能であれば明るさを下げる。
	1.0%	□ テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げる。見ていないときは消す。
キッチン	1.5%	□ 冷蔵庫を冷やしすぎず([強]→[中])、食品はつめこみすぎない。 ※食品の傷みにはご注意ください
	0.3%	□ 料理するときは炎が鍋底からはみ出さないように火力を調整する。
	0.6%	□ お皿洗いのときはお湯の温度を下げる。
風呂・トイレ	1.9%	□ お風呂ではお湯の出しすぎに注意する。シャワーの時間を短くするのも効果的。
	5.6%	□ 追い焚きが必要ないように、間隔を空けずに続けてお風呂に入る。
	0.2%	□ 便器のタイマー・節電機能を利用する。機能がない場合は、保温や温水の設定温度を下げ、便座のフタをしめる。
	0.5%	□ 衣類乾燥や浴室乾燥は、部屋干しと併用して使用時間を減らす。

参考：経済産業省「冬季の省エネ・節電メニュー(ご家庭の皆様)」本州・四国・九州版

☆2面は「冬の環境学習イベントのお知らせ」、3面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。



冬の環境学習イベントのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館



◆みんなの理科フェスティバル

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、小中学生による自由研究や理科工作、高校生や大学生・大学院生、研究機関、大学などの教員・研究員、市民や学芸員などによる研究発表・講演会、ワークショップなどを開催！
(入場自由)

日時 2023年1月21日(土)～1月22日(日) 9:30～17:00
場所 横須賀市自然・人文博物館、横須賀市文化会館

◆トウキョウサンショウウオの観察

神奈川県内で三浦半島にだけ生息し、馬堀自然教育園内で移植・保護されている希少な両生類トウキョウサンショウウオの卵や幼生を観察します。

日時 2023年3月11日(土)9:30～12:00
場所 馬堀自然教育園
対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)
定員 20人(事前申込制、2月17日(金)締切)
参加費 1人50円

《申込方法》

往復はがきに以下の事項を記入して申込先へ
・往信面に①行事名、参加者全員の②住所、
③氏名(ふりがな)、④年齢、⑤電話番号
・宛名面に代表者の①住所②氏名
インターネットでの申込はこちら⇒⇒⇒⇒⇒



申込・問い合わせ先

横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 横須賀市深田台95番地 月曜休館(祝日・振替休日の場合は翌日)
電話: 046-824-3688 E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

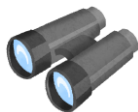
◆冬の野鳥観察会

コースは斉田浜～荻野川に沿った里の道～沢山池。講師は山本健一郎氏、神渡哲也氏です。歩きやすい靴・服装、飲み物、あれば双眼鏡をご用意ください。(申込不要)

日時 2023年2月25日(土)9:00～12:00
※雨天の場合は26日(日)
場所 西行政センター入口前集合
対象 どなたでも(未就学児は保護者同伴)
参加費 大人300円、小中学生100円(会員割引あり)

問い合わせ先

おおくすエコミュージアムの会
電話: 080-1200-8143
E-mail: okusueco@yahoo.co.jp



◆環境ポスターコンクール

「環境を良くするよびかけ」をテーマに小中学生の作品を募集する絵画コンクールの入選作品を展示します。

日時・場所
2023年
1月14日(土)～1月19日(木) 湘南衣笠ゴルフ
1月23日(月)～1月27日(金) 横須賀市役所
2月2日(木)～2月8日(水) 横須賀グリーンゴルフ
2月10日(金)～2月15日(水) イオンクミ浜店
2月17日(金)～2月28日(火) 横須賀モアーズシティ
3月2日(木)～3月7日(火) 株式会社サガミ

問い合わせ先

横須賀市環境部ゼロカーボン推進課
電話: 046-822-8327

◆観音崎砲台跡&走水低砲台跡を 見てみよう

明治時代に造られた洋式砲台の遺構で観音崎にある三軒家砲台跡や第一砲台跡、旗山崎公園にある走水砲台跡を見学します。(雨天中止)

日時 2023年3月12日(日)9:30～12:30
場所 神奈川県立観音崎公園
対象 小学生以上
(小学生は保護者同伴)
定員 先着15人



申込・問い合わせ先

観音崎公園フィールドレンジャーの会
電話: 046-843-8316
2月13日(月)～3月10日(金)に電話・FAX・E-mailで観音崎公園パークセンターへ。
電話: 046-843-8316 FAX: 046-844-4150
E-mail: kannonzaki-event@kanagawa-park.or.jp

◆野比かがみ田緑地自然観察会

野比かがみ田緑地で春の自然を楽しむ観察会を実施します。講師は、NPO法人三浦半島生物多様性保全の天白牧夫氏と鈴木茂也氏です。(雨天中止)

日時 2023年3月11日(土)10:00～12:00
場所 野比かがみ田緑地(野比5丁目)
対象 市内在住・在学・在勤の小学生以上
(小学生は保護者同伴)
定員 抽選20人

☆地面がぬかるんでいるため
長靴を着用してください。

申込・問い合わせ先

横須賀市建設部自然環境共生課
電話: 046-822-9749
2月10日(金)～2月26日(日)にネット申込
(<https://www.yokosuka-yksk.jp/>) または横須賀市コールセンター(046-822-2500)に電話・FAX。





横須賀の海には、春から秋にかけて南の暖かな海から卵や稚魚の時期に黒潮によってやってきて、冬には寒さに耐えきれずに死んでしまう、ということを毎年繰り返している魚があらわれます。こうした生活をする魚を「死滅回遊」または「無効分散」する魚と呼んでいます。

死滅回遊魚の多くは、観賞魚店などで熱帯魚として販売されているようなサンゴの海で生まれた魚たちで、チョウチョウウオのなかま、スズメダイのなかま、ベラのなかま、イトウダイのなかまなどがこれに含まれ、中には成長すると体長1.5mにもなるオニカマス（英名バラクーダ）や、熱帯・亜熱帯性のアジやフグのなかまなども見られます。

これらの魚はなぜ、一見すると命の無駄遣いとも思える死滅回遊をするのでしょうか。そこには種の繁栄のための捨て石ともいえる戦略が隠されています。たとえば現在進行している地球温暖化がさらに進んだような場合には、横須賀の海が現在の亜熱帯のような気候になることが予想されますが、その時になってサンゴの海の魚たちが生息の場を広げようとしても競争は激しく成功する確率が低くなってしまいます。そこで、いつ生息環境が整っても最初に生息場所を確保できるように、子孫をサンゴの海から送り出していると考えられます。

12月から1月にかけては、死滅回遊する魚が見られる最後のチャンスかもしれません。寒い中ですが、ちょっと海の中をのぞいてみませんか。



今年初めて横須賀の海で見つかった
クロオビエビス（イトウダイ科）



夏の潮だまりでよく見られる
オヤビッチャ（スズメダイ科）



色あざやかなトゲチョウチョウウオ（左）と
フウライチョウチョウウオ（右）
（チョウチョウウオ科）

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します

横須賀市 ゼロカーボンシティ宣言



みなさまからのE C Oな情報も募集してます。



《発行》横須賀市／環境教育・環境学習推進懇話会 《協力》横須賀市自然・人文博物館

《発行元》〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境部ゼロカーボン推進課

TEL: 046-822-8327 FAX: 046-824-5630

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆カラー版は横須賀市ホームページから「ECO通信」で検索！
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>



☆「環境教育・環境学習推進懇話会」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。